

大阪文化の

灯を点ける!

ここでいろんなことをする。そうして感性を刺激することで、新たな文化も育っていくのだと思います。

春野 浪曲師の現状を考えると、私たちはプロデュースから広報、タレントまでをすべて自分たちでしなければなりません。

佐藤 美術館とか音楽ホールとか、文化を固定して見過ぎている面はないでしょうか。大阪には、革新を起こして新しい文化を提示していくモデルが少ないと思いますね。京都国際マンガミュージアムでは、日本のマンガアニメは世界を席巻する日本文化だと紹介しています。開館して2年間で50万人ほどの来場者があったのですが、その10～15%が外国人観光客です。マンガ文化が新たな観光資源にもなっているんですね。さらにそのポテンシャルを生かして、コンテンツ産業や観光ビジネスとリンクさせています。ビジネスマインドの進んだ大阪であれば、そうした新しい分野を先取りすることもできるはずですよ。マンガにしろ、グルメにしろ、新しい文化を取り込んだビジネス戦略をぜひ大阪で実践してもらいたいですね。

武田 アニメ制作は大阪が本場なんですよ。しかし、やはりその広報が弱い。そういうことも含めて、大阪大学は大阪を発信することにも力を注いでいかなくてはならないと痛感しました。

田中 ぜひ言っておきたいことがあります。先ほど私は関西合衆国の話しをしました。素晴らしいアイデンティティをもっている関西がどんどん疲弊する姿を見るのは本当に残念です。ここで大事なのは、ユナイテッド(連合)とガバナンス(自治)です。大阪21世紀協会は1982年に『大阪21世紀計画』をつくられて、「世界都市・大阪をつくろう」「文化立都」というスローガンを立てられました。大阪21世紀協会の今後が目ざされている今、私はこの際大阪を越えて、関西の21世紀協会になってほしいと思います。そうして関西の各都市が連携することこそ、必要ではないかと思っています。引き続き頑張ってくださいと思います。

堀井 ありがとうございます。皆さんのお話を伺って、是非ともやらなくてはならないことが二つあると思いました。ひとつは26年間、文化で都市を活性化しようと活動を続けてきましたが、この歩みを止めてはならない。そして今後は、大阪はもちろん関西の文化への広がりを目指して活動する重要性を感じました。もうひとつは大学や知的ネットワークの役割の重要性をあらためて認識しました。『21世紀懐徳堂』などと連携して、大阪・関西の文化による都市再生を推進していきたいと思っています。本日はありがとうございました。

大阪府民
880万人の
文化財産!

財団法人文楽協会

世界遺産『文楽』の技芸を伝承・普及
下村進 次長 談

大阪発祥の文楽は世界遺産にも登録され、大阪府民はもとより日本人の財産ともいえるべき芸能です。私たちは無形文化財である『文楽』の伝承・普及を目的とし、伝統芸能を伝承するために大夫や三味線、人形遣いの文楽三業といわれる技芸員の活動を振興しております。そうした費用は国、大阪府、大阪市、財界の支援によるもので、これによって大阪の伝統芸能の灯を絶やさないように日々精進しています。

大阪府民
880万人の
文化財産!

国立文楽劇場

開館25周年を迎え10万人集客をめざす
秋田憲良 支配人 談

当劇場は昭和59年にオープンして以来、今年で25周年。この間、文楽の鑑賞者層をさらに広げるため、通常の公演以外に子ども対象の『夏休み親子劇場』や高校生対象の『文楽鑑賞教室』、『社会人のための文楽入門』などを行ってきました。その成果があって、最近では若い皆さんの中にも文楽に対する興味が深まってきています。平成21年度は文楽公演で年間10万人以上の集客を目指して頑張っています。



義経千本桜(よしつねせんぼんざくら)
(写真提供:国立文楽劇場/撮影=北畑)